

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【公開番号】特開2017-94501(P2017-94501A)

【公開日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2015-225713(P2015-225713)

【国際特許分類】

B 3 2 B	7/02	(2006.01)
B 3 2 B	27/20	(2006.01)
B 3 2 B	27/00	(2006.01)
B 6 5 D	25/20	(2006.01)
B 6 5 D	23/08	(2006.01)
B 6 5 D	65/40	(2006.01)
C 0 9 D	11/037	(2014.01)

【F I】

B 3 2 B	7/02	1 0 6
B 3 2 B	27/20	A
B 3 2 B	27/00	H
B 6 5 D	25/20	Q
B 6 5 D	23/08	Z
B 6 5 D	65/40	D
C 0 9 D	11/037	

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月23日(2018.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも、遮蔽層、基材層、及び遮光層からなる遮光性積層体であって、該遮蔽層が、該基材層の一方側に位置し、かつ、

該遮光層が、該基材層を挟んで該遮蔽層とは反対側に位置し、かつ、

該基材層が、熱収縮性フィルムからなることを特徴とする、遮光性積層体。

【請求項2】

前記遮蔽層は、白インキよりなる1層又は2層以上の印刷層であり、

前記遮光層は、バインダ樹脂及びアルミニウム顔料を含む遮光インキよりなる印刷層である、請求項1に記載の遮光性積層体。

【請求項3】

前記遮光層上に、さらに、インキよりなる滑り性付与層を配置した、請求項1又は2に記載の遮光性積層体。

【請求項4】

前記遮蔽層上に、さらに、印刷インキよりなる絵柄印刷層を配置した、請求項1～3のいずれか1項に記載の遮光性積層体。

【請求項5】

前記絵柄印刷層上に、さらに、オーバープリントニスよりなる表面保護層を配置した、

請求項 4 に記載の遮光性積層体。

【請求項 6】

熱収縮後に、積層体の絵柄印刷層を設けていない部分において、基材層の遮光層を設けた側と反対側から測定した L * a * b * 表色系の明度 L * 値が 82 以上である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の遮光性積層体。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の遮光性積層体を含む包装材料。